

2022 年度 小委員会活動成果報告

(2023 年 2 月 15 日作成)

小委員会名	西洋建築史小委員会		主 査 名：加藤 耕一 就任年月：2020 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	建築歴史・意匠委員会		委員長名：山崎 鯛介 主 査 名：
設 置 期 間	2021 年 4 月 ～ 2025 年 3 月		
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 建築史研究の根幹の一つである西洋建築史研究の護持・活性化 ・ 若手研究者の育成・強化 ・ 国際的な研究動向をふまえた新しい研究活動、研究領域の拡大 ・ 学術的国際交流促進の促進 ・ 若手研究者の育成・強化 ・ 西洋建築史図集の改訂 		
委員構成 (委員名(所属))	委員公募の有無：無		
	主査：加藤耕一（東京大学） 幹事：戸田穰（昭和女子大学）・伊藤喜彦（東京都立大学） 委員：稲川直樹（中部大学）・海老澤模奈人（東京工芸大学）・大橋竜太（東京家政学院大学）・岡北一孝（岡山県立大学）・加嶋章博（摂南大学）・太記祐一（福岡大学）・武田明純（室蘭工業大学）・中島智章（工学院大学）・西田雅嗣（京都工芸繊維大学）・堀賀貴（九州大学）・横手義洋（東京電機大学）・吉武隆一（熊本大学）		
設置 WG (WG 名：目的)	西洋建築史図集WG：西洋建築史の研究成果を図集の改訂に結びつけていく 西洋建築史の諸問題WG：「西洋建築史」という枠組みにおける諸問題を検討し、研究交流の促進と研究基盤の形成を図る 西洋建築史ヒストリオグラフィーWG：活動内容を発信することを中心に、最新の研究動向の紹介や、研究成果の共有等、情報共有のプラットフォームをつくる		
2022 年度予算	180,000 円	ホームページ公開の有無：無 委員会 HP アドレス：	

項 目	自己評価
委員会開催数	2 回（年度内計画を含む）
刊行物 (シンポジウム資料等は除く)	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー等) *能力開発支援事業委員会承認企画	
大会研究集会	1. PD：建築と古典主義 参加者数 58 名 『建築歴史・意匠部門パネルディスカッション資料：同上』
対外的意見表明・パブリックコメント等	
目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)	1. 今年度は大会にて PD「建築と古典主義」を実施した。また PD 実施に向けて、事前の研究会を重ねることで、委員内の有意義な議論をすることができた 2. 参加のWGの連携を取りながら、活動の基盤づくりが進んでいる
委員会活動の問題点・課題	1. 大会の研究集会以外にも研究会を実施したかったが、今年度はできなかった 2. 次年度に向けて、研究会の実施と成果の発信の両面を強化したい